

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 9 月 3 日 (2020.9.3)

【公開番号】特開 2018-196516 (P2018-196516A)

【公開日】平成 30 年 12 月 13 日 (2018.12.13)

【年通号数】公開・登録公報 2018-048

【出願番号】特願 2017-102004 (P2017-102004)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 0 C

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 7 月 21 日 (2020.7.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技盤の後側に設けられた表示手段装着部に画像表示手段を着脱可能に備え、
前記画像表示手段に表示される画像に所定変形処理を行う特定演出を実行する演出実行
手段を備えた

遊技機において、

前記表示手段装着部は、

後方へと膨出状に形成され且つ前記画像表示手段を装着位置へと案内可能な膨出部を備え、

前記膨出部の内側に遊技部品を配置した

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記表示手段装着部は前記画像表示手段の挿脱方向と交差する方向に複数の前記膨出部を備え、

複数の前記膨出部に、前記遊技部品を配置した

ことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記画像表示手段に、エラーを報知するためのエラー報知画像を表示可能であり、

前記エラー報知画像の表示中に前記特定演出を実行する場合、前記エラー報知画像を含まない特定画像に対しては前記所定変形処理を行うが、前記エラー報知画像を含む非特定画像に対しては前記所定変形処理を行わない

ことを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

従来のパチンコ機は、遊技盤の遊技領域の略中央に前側から着脱自在にセンターケースを装着し、このセンターケース内の表示窓に対応して、遊技盤の裏側に液晶表示手段等の画像表示手段、可動演出手段を配置して、その画像表示手段により各種演出画像、報知画像等を表示し、また、演出画像、報知画像の表示に同期して可動演出手段が演出動作を行い、その両者の演出効果により遊技者の興趣の向上を図るようになっている（特許文献1参照）。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

本発明は、画像表示による演出を行う画像表示手段に関し、より好適な構成を有する遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、遊技盤の後側に設けられた表示手段装着部に画像表示手段を着脱可能に備え、前記画像表示手段に表示される画像に所定変形処理を行う特定演出を実行する演出実行手段を備えた遊技機において、前記表示手段装着部は、後方へと膨出状に形成され且つ前記画像表示手段を装着位置へと案内可能な膨出部を備え、前記膨出部の内側に遊技部品を配置したものである。

前記表示手段装着部は前記画像表示手段の挿脱方向と交差する方向に複数の前記膨出部を備え、複数の前記膨出部に、前記遊技部品を配置したものでよい。

前記画像表示手段に、エラーを報知するためのエラー報知画像を表示可能であり、前記エラー報知画像の表示中に前記特定演出を実行する場合、前記エラー報知画像を含まない特定画像に対しては前記所定変形処理を行うが、前記エラー報知画像を含む非特定画像に対しては前記所定変形処理を行わないようにしてもよい。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明によれば、画像表示による演出を行う画像表示手段に関し、より好適な構成を実現可能である。